学校だより　恵那市立岩邑中学校
温故知新
学校の教育目標
確かな学力　豊かな心　逞しい体
令和５年５月２６日

『子どもも大切な主権者』

校長　片桐宣伸

５月１５日（月）に、大雨警報による臨時休校で延期されていた生徒総会が実施されました。驚いたのは、「まずは議長の選出を行います」…大人顔負けの総会が始まったことです。生徒会執行部から今年度のスローガン『dairy』に込められた願いが全校生徒に伝えられ、各委員長からは日常で大切にすべきことが伝えられました。次に驚いたのは、質疑応答の場面です。大人は、そういう場面に出くわすとつい黙ってしまうものですが、３年生を中心に、堂々と意見を述べる子がいます。各提案を肯定的に受け止め、全校に徹底を促す「いいこと話すなぁ」と思わず感心してしまう意見がたくさんありました。

そんな中で、私が「大切にしたい」と強く感じた、生徒からの２つの質問と１つの意見を紹介します。

質問①「縦割り合唱練習の時間は帰りの会ですか、それとも昼休みですか」
質問②「図書館の来客を増やすと言いましたが、具体的には何をしますか」
意見①「暑くなったら熱中症を予防するため体操シャツをズボンから出すことを許可してほしいです」

学校生活を行う生徒代表として、意見①を全校生徒の前で主張できたことは、とても立派なことだと考えます。同様に、質問①②のその先には、今回は言い切れなかったかもしれませんが「こうしてほしい」という意見があったのだと思います。

私たち大人と同様、選挙権は無くとも子どもたちは紛れもなく主権者です。学校というところは、大人より子どもの方が多く生活している社会です。だからこそ、こうした子どもたちの意見は大切にしなければなりません。生徒総会の最後に、校長として子どもたちにこう宣言しました。

> 校長室の扉を開けておくので、何か伝えたいことがあればいつでものぞいてみてください。

ＰＴＡ総会の折にもお話しさせていただきましたが、本校は『一人一人の生徒を大切にし、力をつける学校』です。これが、その具体的な方法の一つだと考えています。